

建設委員会陳情説明資料

令和元年 10月15日

| 件名 | 頁 |
|--|---|
| 1 受理番号16 花畑川環境整備の早期整備を求める陳情 | 1 |
| 2 受理番号17 花畑運河の歴史文化的価値の保存を求める陳情 | 4 |

(都市建設部)

| | |
|--------|---|
| 件名 | 受理番号16 花畑川環境整備の早期整備を求める陳情 |
| 所管部課名 | 道路整備室工事課 |
| 陳情の要旨 | 花畑川の環境整備を地元説明会での区の提案どおり、散策路を広くとり、桜並木を備えた遊歩道として、早期に整備を進めてください。 |
| 陳情者等 | 請願文書表のとおり |
| 内容及び経過 | <p>1 花畑川の現状</p> <p>(1) 現況</p> <p>ア 延長 1,404 m</p> <p>イ 河川整備幅 33 m</p> <p>ウ 面積 4.6 ha</p> <p>(2) 経緯</p> <p>ア 昭和6年(1931年)北関東穀倉地帯と東京を結ぶ舟運の混雑解消を目的に開削された運河</p> <p>イ 平成13年に一級河川から準用河川となり、足立区が管理する。</p> <p>ウ 準用河川となった後、船の通行はない。</p> <p>2 これまでの取組み</p> <p>(1) 花畑川を考える会</p> <p>平成12年9月に第1回を開催、以降、計6回の会議と先進事例の視察を重ね、平成14年3月に「花畑川環境整備基本計画」を策定</p> <p>(2) 地元説明会</p> <p>昨年度から、計4回の地元説明会を実施し、意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成30年 6月18日 ・ 第2回 平成30年10月15日 ・ 第3回 平成31年 3月18日 ・ 第4回 令和 元年 7月30日 <p>3 整備概要(別紙参照 P3)</p> <p>(1) 散策路 約8m(園路幅3m、植樹帯3m、護岸1m、緩衝帯1m)</p> <p>(2) 水面幅 約17m(平均満潮位A.P.+2.1m)</p> <p>(3) 護岸 勾配1:0.5(干潮時の水面幅を確保するため)</p> <p>自然に近い護岸形状を基本とし、引き続き検討する。</p> <p>(4) 令和3年3月から工事着手、令和12年度の全体完成を目指す。</p> |

4 今後の予定

| 年 月 | 内 容 |
|--------------------|-------------------------|
| 平成31年4月 ～令和2年2月 | 第1期詳細設計 |
| 令和元年12月 | 第5回地元説明会 |
| 令和2年度 令和3年3月 | 富士見橋架替詳細設計委託 第1期工事着手 |
| 令和3年度 | 富士見橋架替工事着手 |

問題点等

花畑川横断図

1級河川時の護岸状況(現況)

計画高水位 : A. P. +2.50m



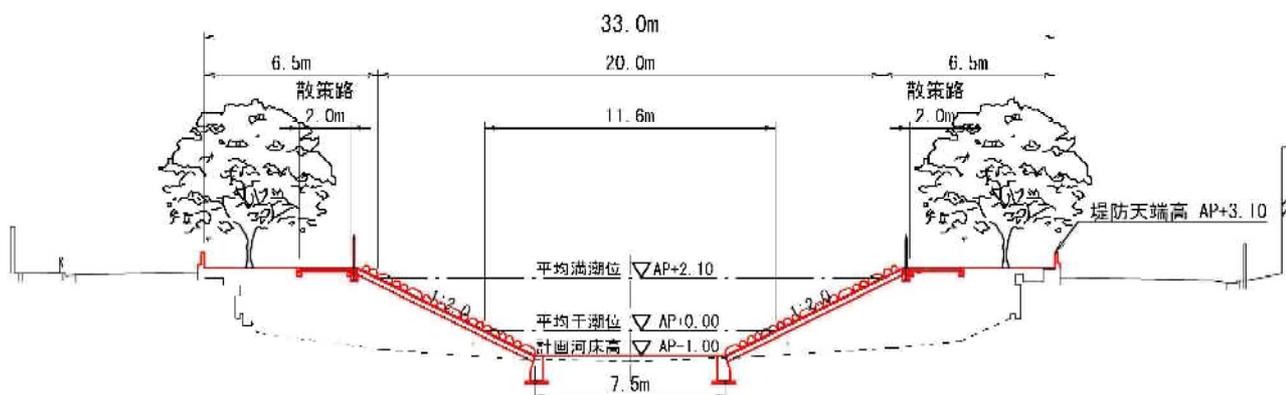
花畑川環境整備基本計画(平成14年3月)

計画高水位 : A. P. +2.50m

平均満潮位 . . . 幅20.0m

平均潮位 . . . 幅15.8m

平均干潮位 . . . 幅11.6m



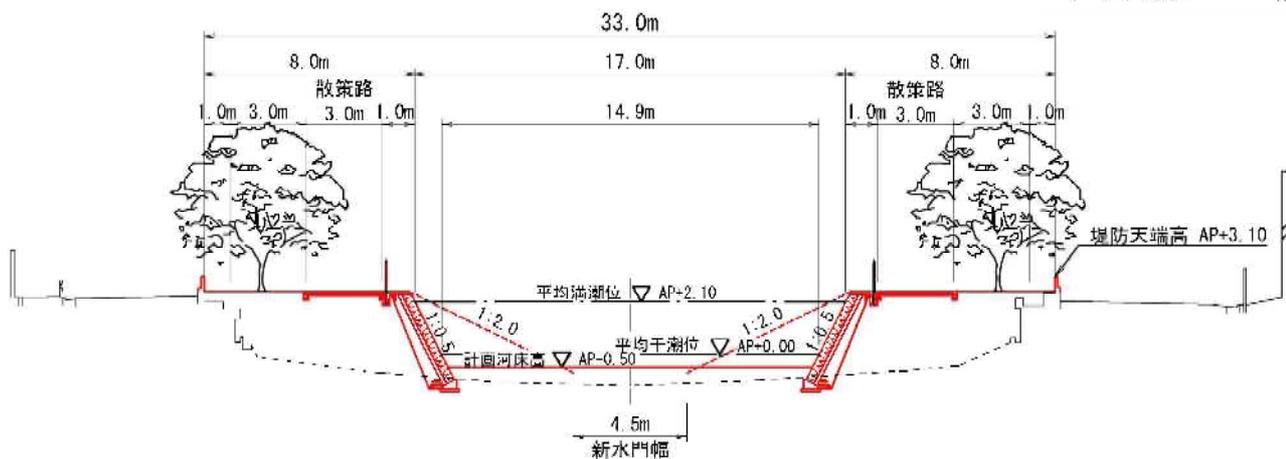
計画高水位 : A. P. +2.50m

平均満潮位 . . . 幅17.0m

平均潮位 . . . 幅16.0m

平均干潮位 . . . 幅14.9m

現在の計画



| | | | | | | | | | |
|---------|--|------|---------|---------|------|-------|-----------|------|--------|
| 件名 | 受理番号 17 花畑運河の歴史文化的価値の保存を求める陳情 | | | | | | | | |
| 所管部課名 | 道路整備室工事課 | | | | | | | | |
| 陳情の要旨 | <p>1. 河川法の趣旨に基づき事業計画を作成し、河川法に基づく手続きを行い、河川法を遵守した事業を実施すること。</p> <p>2. 花畑川の関東利根川流域と荒川流域を結んできた舟運の大動脈である歴史文化性を鑑みた、「平成13年度花畑川環境整備基本計画」の事業を推進すること。</p> <p>3. 花畑川の幅は、平成13年度花畑川環境整備基本計画のとおり最低約23mの水面幅を確保すること。</p> <p>4. 将来にわたって、花畑川の運河としての舟運を可能とし、災害緊急時の人的・物的輸送にも資するため、現在の中川、綾瀬川の水門を存続し、現行の水門幅を残すこと。</p> <p>5. 足立区景観計画を遵守した事業とすること。</p> <p>6. 花畑川運河の歴史文化的価値を保存するために、設計に当たっては、足立区郷土史家や土木学会歴史委員会委員、多自然川づくりアドバイザー、日本河川協会などを加えた専門委員会を設置して検討すること。</p> | | | | | | | | |
| 陳情者等 | 請願文書表のとおり | | | | | | | | |
| 内容及び経過 | <p>1 花畑川の現状</p> <p>(1) 現況</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 延長</td> <td>1,404 m</td> </tr> <tr> <td>イ 河川整備幅</td> <td>33 m</td> </tr> <tr> <td>ウ 水面幅</td> <td>25 ~ 30 m</td> </tr> <tr> <td>エ 面積</td> <td>4.6 ha</td> </tr> </table> <p>(2) 経緯</p> <p>ア 昭和6年(1931年)北関東穀倉地帯と東京を結ぶ舟運の混雑解消を目的に開削された運河</p> <p>イ 平成13年に一級河川から準用河川となり、足立区が管理する。</p> <p>ウ 準用河川となった後、船の通行はない。</p> <p>エ 河川法施行令第56条(準用しない規定)により、「河川整備基本方針」と「河川整備計画」の設定義務はないが、平成19年1月に「花畑川の整備方針」において河道計画諸元を定めており、水門幅の変更に伴い変更中である。</p> <p>オ 中川と接続する六ツ木水門は、国の中川右岸堤防嵩上げ事業において、耐震性を確保するため幅4.5mの新水門へ、花見橋を幅4.5mの樋管へ変更する設計が終了している。</p> <p>カ 綾瀬川と接続する花畑水門は、都において耐震性を確保するため、幅4.5mの水門設置の設計が終了している。</p> | ア 延長 | 1,404 m | イ 河川整備幅 | 33 m | ウ 水面幅 | 25 ~ 30 m | エ 面積 | 4.6 ha |
| ア 延長 | 1,404 m | | | | | | | | |
| イ 河川整備幅 | 33 m | | | | | | | | |
| ウ 水面幅 | 25 ~ 30 m | | | | | | | | |
| エ 面積 | 4.6 ha | | | | | | | | |

(3) 足立区景観計画における位置付け

花畑川は景観軸のうち、河川・水路の軸のひとつに位置付けられている。

景観形成方針は、沿川のまとまった樹林地や公園、公共住宅団地内の既存樹林等を活かし、緑のネットワークの形成や歩行空間、遊歩道の整備や改善に努め、潤いのある景観形成を図ると定められている。

2 これまでの取組み

(1) 花畑川を考える会

平成12年9月に第1回を開催、以降、計6回の会議と先進事例の視察を重ね、平成14年3月に「花畑川環境整備基本計画」を策定

(2) 地元説明会

昨年度から、計4回の地元説明会を実施し、意見交換を行った。

- ・ 第1回 平成30年 6月18日
- ・ 第2回 平成30年10月15日
- ・ 第3回 平成31年 3月18日
- ・ 第4回 令和 元年 7月30日

3 整備概要 (別紙参照 P6)

(1) 散策路 約8m(園路幅3m、植樹帯3m、護岸1m、緩衝帯1m)

(2) 水面幅 約17m(平均満潮位A.P.+2.1m)

(3) 護岸 勾配1:0.5(干潮時の水面幅を確保するため)

自然に近い護岸形状を基本とし、引き続き検討する。

(4) 令和3年3月から工事着手、令和12年度の全体完成を目指す。

4 今後の予定

| 年 月 | 内 容 |
|--------------------|-------------------------|
| 平成31年4月 ~令和2年2月 | 第1期詳細設計 |
| 令和元年12月 | 第5回地元説明会 |
| 令和2年度 令和3年3月 | 富士見橋架替詳細設計委託 第1期工事着手 |
| 令和3年度 | 富士見橋架替工事着手 |

問題点等

花畑川横断図

1級河川時の護岸状況(現況)

計画高水位 : A. P. +2.50m



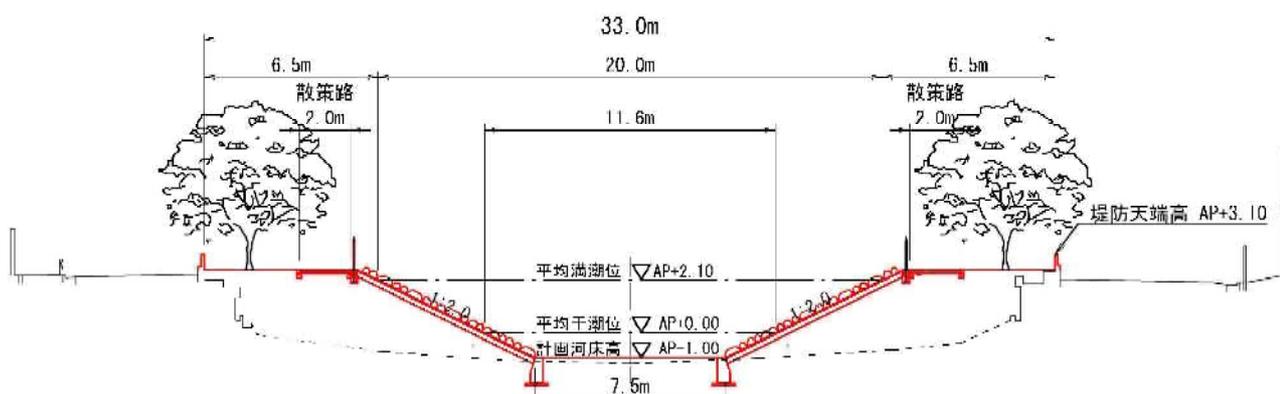
花畑川環境整備基本計画(平成14年3月)

計画高水位 : A. P. +2.50m

平均満潮位 . . . 幅20.0m

平均潮位 . . . 幅15.8m

平均干潮位 . . . 幅11.6m



計画高水位 : A. P. +2.50m

平均満潮位 . . . 幅17.0m

平均潮位 . . . 幅16.0m

平均干潮位 . . . 幅14.9m

現在の計画

